

広報ふっさ



市公式キャラクター
たっけー☆☆

平成30年
7月1日
No. 1002

福生市7月のイベント

8日(日)	市営プールオープン
14日(土)～9月17日(祝)	平和のための戦争資料展
15日(日)	1日プレイパーク
28日(土)・29日(日)	福生夏祭り

まちの写真ニュース 第53回福生ほたる祭が開催され、大勢の人でにぎわいました!



今号の主な記事 2面 Oh! My Baby!!～自慢のお子さん大募集～ 3面 新築・増築家屋調査のお願い 4面 七夕まつり関連情報 5面 下水道施設見学会参加者募集 6面 企画展示「平和のための戦争資料展」 7面 福庵でおもてなし 8面 市営プールオープン



形を変えて受け継がれる 2000年続く 福生の祭り

地域が一体となる福生夏祭り。その歴史は長く、古くは江戸時代から行われていましたが、当時の様子を伝える資料はほとんど残っていません。時代を超えて、どのように受け継がれてきたのか。今号は、福生で続く祭りの歴史に迫ります。

祇

園系神社であった福生村の天王社では、毎年6月に「天王祭り」を行い、その歴史は文化元年（1804年）以前にまで遡ります。しかし、明治2年に発布された神仏分離令により、天王社は「八雲神社」と改称し、福生神明社の隣に境内神として祀られることに。

その後、天王祭りの名も改称されることになりましたが、村人たちの天王祭りに対する強い思いから、改称後も村の祭りは、天王祭りと呼ばれていました。明治27年ごろに天王祭りは転機を迎えます。天王社が境内神として祀られたことに伴い、祭りの時期が8月に変更されることに。しかし養蚕業を営んでいた村人たちにとって、祭りを行うには不都合な時期でもあり、次第に人手は減少し、天王祭りはついに中止を迎えました。

時代が明治から大正に変わるころ、大人が農作業をしている傍らで、子どもたちは自ら箱神輿を作り、「子どものお祭り」として祭りの文化を繋いでいたことから、祭りの担い手は子どもたちへと変わっていききました。子どもたちによる天王祭りをきっかけに、祭り好きの青年たちが本格的な神輿造りや太鼓の指導に取り組み始め、やがて青年団主体の祭りへと発展していき、昭和初期には、かつての天王祭りに劣らないほどの盛り上がりを見せました。

終戦後、区画整理が完了し、多くの町会が編成されていくなかで、祭りの主体は青年団から町会へと推移していききました。町会ごとに山車を導入したことで天王祭りは「八雲祭り」へと形を変えて、当時の福生村に位置する各町会へと受け継がれています。現在では、福生地域熊川地域で行われている祭りを「夏祭り」と称し、毎年7月末の土・日曜日に各町会が山車や神輿を担ぎながら市内を練り歩いています。



福生夏祭り

7/28(土)・29(日)

〈八雲神社神事・入魂式〉

【日時・場所】7月28日(土)午後1時～・福生神明社



また、市ではさまざまな防災対策を行っており、昨年本格稼動した福生市防災食育センター内では、防災に関するさまざまな展示も行い、施設見学の受け入れも行っています。団体での見学の場合は、学校給食の試食もお越しいただき、市の防災対策について理解を深め、ご自身の安全対策に役立てていただければと思います。

災害が起きた際に、少しでも被害が減るよう、自助、共助、公助それぞれを強化していくことが重要だと考えています。

全力投球



福生市長 加藤育男
ふっさっ子の訪問を受けて

災害への備え

6月18日、大阪府北部を中心に震度6弱という強い地震が観測され、死傷者も400人を超える大惨事となりました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この地震で、登校中の小学4年生の女児が、プール際の倒壊したブロック塀の下敷きになって亡くなられたことは、決してあってはならないことであり、市政を預かる者の一人として、行政の日ごろからの災害対策・危機管理を徹底していかなくてはならないと実感したところです。

福生市では、学校を含む市内のすべての公共の建物で耐震化が完了していますが、今回の地震を受け、改めて施設周辺の塀や工作物等の安全点検を指示しました。